

# 労働教育実践交流会

## —小学校や中学校での労働教育の試み—

NPO法人教育支援グループEd.ベンチャー

小学校教諭  
三澤 律子

### 1. NPO法人教育支援グループEd.ベンチャー

• 市民や退職教員・研究者や現職教員が集まって立ち上げた社会教育団体

#### • 目的

目の前の子どもたちや先生、学校や保護者が直面する問題を共有し、とくに弱い立場に置かれた子どもも含め、すべての子どもや先生（学校）が明るい未来を創造するためのお手伝いをする。

#### • 主な事業

- 学習に遅れる子どもたちの支援 ・学校が必要とする様々な支援
- 外国人や弱い立場の子どもたちの支援
- 教職員とともに教育を考える活動
- 市民とともに教育課題を考える活動

☆問い合わせ先 HP: <http://edventure.jp/> mail: [toiawase@edventure.jp](mailto:toiawase@edventure.jp)

### 2. 研究の経緯

- 外国籍の青年による不当労働の訴え
- 2015年11月「労働法と学校教育のつながりを探る」講座
- キャリア教育への疑問
  - 夢を語るのは「善」
  - 他人の家庭の内情や仕事について聞くのは「悪」

#### 児童を取り巻く現状

- 就学援助、生活保護…学年の約1～3割
- 外国籍児童の増加
- 一人親家庭の増加  
(非正規労働者・無職)



貧困の  
連鎖

### 3. 児童につけたい知識・力

◇労働者の立場に立って「働く」イメージを広げる

◇労働＝お金が発生する「賃労働」

◇仕事・労働には、ポジティブな面だけではない

◇困ったときに、頼れる場所があること、集団で訴える権利があること

◇働き方と憲法を関連付ける

◇自営や農業など、「つかわれる」仕事ばかりではないことを知る

◇「人間らしい働き方」をするにはどうしたらいいのか考える力

◇家族以外の働き方を例に挙げて考え、それを、身近な問題に変えて考えられる力

知識

考える力

## 4. 小学校の実践①

- 対象 6年生
- 教科 社会科
- 単元 「平和で豊かな暮らしを目指して」(戦後の日本)
- ねらい: 日本国憲法やさまざまな改革の内容をつかみ、戦後、日本が民主的な国家を自覚してきたことを理解している。戦後の日本の社会がどのように変わっていくのかについて当時の課題を考えている。等
- 研究としてのねらい
  - ワークルールの知識を学ぶ。
  - 労働基準法と照らし合わせ「働き方」を考える。
  - 現在の世の中が、憲法に沿った現実になっているか考える。

## 4. 小学校の実践①

- (2) 「労働基準法」を学ぶ  
ロールプレイの事案と照らし合わせ、適切な知識を知る。



## 4. 小学校の実践① 2016

- (1) ロールプレイで「お店屋さんごっこ」  
アルバイト先でトラブルがあったときの対応を考える。

- 想定①バイトが皿を割ってしまった。
- 想定②遅刻したので急にクビだと言われた。
- 想定③客を集めたいので、今日中にチラシを作って一人2000枚配布するように言われた。
- 想定④夜勤中、忙しいのに体調が悪くなった。

## 4. 小学校の実践①

<実践①から見たこと>

- 「学校」で労働教育を行う難しさ
- 「ワークルール」に関する知識は理解できる。
- 子どもの知識・理解度  
立場の関係性が分からない。(例: 社長・社員・バイト)  
「仕事を失う」「生活ができない」実感がない  
社会問題を自分の「周囲のこと」としてとらえていない。

## 5. 小学校の実践② 2017

- 社会問題について「自分のこと」「周囲のこと」としてとらえる。
- 指導要領に沿った内容を行う。
- 世の中の出来事に「それっておかしくない？」の視点を持つ。  
小学校6年間の中で、成長に応じた学習ができるのではないかな？



社会科を中心とした6年間の  
カリキュラム作り

## 6. 小学校の実践③ 2018

- ・対象 6年生
- ・教科 道徳
- ・単元 「働く」ってどういうこと？
- ・ねらい：働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうとともに、その意義を理解し、公共のために役に立つことをすること。
- ・研究としてのねらい  
労働者の実態を知り、「働く」イメージを広げる。  
仕事の内容・選択理由・続けていく理由  
仕事・労働には、ポジティブな面だけではない。

## カリキュラム案（一例）

時代	主な学習内容	労働教育の視点
奈良時代	平城京と奈良の大仏	「比べてみよう！貴族と平民」 大仏づくり 労働実態 違法労働 税金 『貧窮問答歌』
平安時代	平安京 文化	「比べてみよう！貴族と農民」 天皇・貴族以外の人々の暮らし
鎌倉時代	武士の生活 文化	「厳しい暮らしの中での農民たちの戦い」
室町時代	室町文化	「室町文化の担い手はどんな人たち？」
戦後時代	天下統一 戦いと政治	「刀狩の目的は？」 武士以外の人々の生活 一揆についての学習…協働・組合
江戸時代	政治 文化	「下剋上が起きなかったのはなぜか」 士農工商のしくみ

## 6. 小学校の実践③ 2018

- (1) 職業選択の理由を考える。  
世の中にどのような仕事があり、大人がどのような理由で職業選択をしているのか自分なりに考える。
- (2) インタビュー映像を見る。  
職業選択の理由はさまざまであり、ポジティブな理由・ネガティブな理由があることを知る。

## 6. 小学校の実践③ 2018

(3) ネガティブな理由の職業選択の人がその後どうしているか予想する。

- ・辞めた
- ・いやいや続けている
- ・結婚して辞めた
- ・楽しさを見出した

(4) さまざまな大人のインタビュー映像を見て、「働く」とは  
どういうことなのか考える。

## 6. 小学校の実践③ 2018

<実践③から見えたこと>

- ・子どもにとって「将来の夢=仕事」である
- ・大人の「生の声」は新鮮であり、現実的に考える良い教材となった
- ・「自分が仕事を選ぶなら」を真剣に根拠をもって考えるきっかけになった
- ・「労働教育」をさまざまな教科で行う可能性が見えた
- ・「職業」の知識がない

## 7. 中学校の実践 2018

- ・対象 3年生
- ・教科 社会科
- ・単元 第4章 私たちの暮らしと経済 2節 生産と労働
- ・ねらい：労働組合の意義や労働条件の改善、非正規労働者や外国人労働者の増加などの雇用に関する課題について理解し、その知識を身につけている。
- ・研究としてのねらい  
働き方の理想を、根拠をもって考えられる。

## 7. 中学校の実践 2018

- (1) 過酷な労働下の話を聞き、「おかしい」と思う部分を指摘する。
- (2) 労働三法の知識を復習する。
- (3) 労働基準法がどのような生き方を守ろうとしているのか考える。
- (4) 理想の働き方を考える。

## 7. 中学校の実践 2018

<中学校の実践から見たこと>

- 法律の内容は知識として持っている
- メディアを通して「ブラック企業」「派遣」「貧困」等の話題は耳にしている  
(映画「ちょっと今から仕事辞めてくる」)
- 差し迫った危機感はない
- 社会に対して批判的・あきらめ
- 希望の職種「公務員」

## 9. 小中学校段階で目指す「労働教育」

### • 「職業」に関する知識

職種・働き方・実態・労働者の声

### • 「労働」に関する知識

憲法・法律・組合・ワークルール

### • 社会問題に目を向ける「それっておかしくない？」

マイノリティ・多様性・時事・社会背景

### • 身近な問題として捉える「自分ならどうする？」

### • 「意味」を考える

生活とは 働くとは お金とは 人付き合いとは 社会とは

## 8. 授業で取り扱う配慮事項

- 土台となる学習指導要領との関連
- 「現実を伝えること ≠ 将来を悲観すること」
- 個人の家庭の背景
- 押しつけ・偏り×  
メディアの情報による偏見  
極度の被害者意識・過度な加害者攻撃×

資料① 授業実践「社会科」

本時の展開

(1) 目標

<2時間目> ロールプレイを通して、戦後の改革の内容を理解する。

<3時間目> 日本国憲法やさまざまな改革の内容をつかみ、戦後、日本が民主的な国家を目指してきたことを理解している。

(2) 展開

<1時間目>

	学習活動	指導上の留意点	評価基準・方法
導 入	「民主主義」に基づいて平和な国家を目指すために日本国憲法が制定されたことを振り返る。 <めあて>	・なぜ憲法ができたのか、どんな内容か想起させる。 ・軍国主義と対比しながら考えさせる。	
	戦後のさまざまな改革の内容を知ろう。		
展 開	「労働者の権利」とはどのようなことをイメージするのか発表する。  ファミリーレストランを設定としたロールプレイをして、労働者の立場に立って考える。 ・4グループに分かれて、設定カードをもとにどのようなロールプレイをするか、グループで話し合う。	・前時の復習を行う。 ・自由に児童の発言を受け入れる。  ・児童には、1グループの中で社員役・バイト役に分かれてもらう。教師は経営者（店長）。  ・ハプニングカードを各グループに配布し、「こんなときどうする？」を考えてもらう。その時のセリフや対応は各グループに任せる。  <カード> *バイトが皿を割ってしまった。 *遅刻したので急にクビだといわれた。 *客を集めたいので、今日中にチラシを作って一人2000枚配布す	【知】ロールプレイを通して、戦後の改革の内容を理解する。

資料① 授業実践「社会科」

<p>ま と め</p>	<p>・各グループの発表を行う。</p> <p>友達の意見を聞いて、どう思うのか、意見交換をする。</p>	<p>るように言われた。</p> <p>*夜勤中、忙しいのに体調が悪くなった。</p> <p>・発表時には、黒板にハプニングカードを掲示し、どんな対応をしているのか見やすくする。</p> <p>・発表中ではない児童はロールプレイを鑑賞しながら、何か気づくことはないか考えるよう促す。</p> <p>・それぞれのハプニングに対してどういった対応をしていたのか、児童からの発表を板書する。</p> <p>・子どもなりの言葉で、店員の対応の良し悪しを発表してもらおう。</p>	
----------------------	---	---	--

< 2時間目 >

	学習活動	指導上の留意点	評価基準・方法
導入	前時のロールプレイで気づいたことを振り返る。	・前時の活動を、板書で振り返る。	
展開	「労働基準法」について紹介する。	・日本国憲法の制定から1年後に、労働に関する法律が制定されたことを知る。	
	労基法の内容に照らし合わせ、ロールプレイでおこなわれた内容が適切だったのか、照合する。	・戦前の働き方（八幡製鉄所・富岡製糸場など）を想起させ、この法律の必要性に気づかせる。	
	<めあて>		
	終戦後、日本が目ざした社会はどのようなものだったのだろうか。		
まとめ	戦後の改革の内容を整理し、それらから見えてくる「日本が目ざした社会」について考える。	・憲法制定は、どうして行われたのか想起させ、「人間らしく生きる」ことにつなげて考えられるように、促す。	【知】日本国憲法やさまざまな改革の内容をつかみ、戦後、日本が民主的な国家を目ざしてきたことを理解している。
	日本国憲法や、労働基準法は、国民が「人間らしい生活」を送るために制定されていることを知る。		
	振り返りを書く。		



資料② 社会科カリキュラム

学年	内容	単元名	労働教育学習案
3 学年 及び 4 学年	ア 身近な地域や市の地形, 土地利用, 公共施設などの様子	わたしの住むまちはどんなまち (3) わたしたちの市のようす (3)	・地域や市の土地利用から、土地の特徴を生かした産業について知ること、身近な仕事に触れる。 (※学区・大和市の地図で産業マップを作ってみる) ・どんな人が住んでいるのか (外国人、障がい者)
	イ 地域の生産や販売に携わっている人々の働き	店で働く人と仕事 (3) 工場で働く人と仕事 (3)	・どのようなお店・仕事があるか、そこではどのような仕事をしている人がいるのかに目を向け、自分たちの生活を支えている働く人の様子を知る (※お仕事見学) 仕事内容だけでなく、大変なこと、やりがい等聞く ・働いている人の現状にも目を向ける。(勤務実態、大変なこと、やりがい等) ・利用する人の中には障がい者も外国人もいる ・働く人…女性が多い 裏方…男性もいる
	ウ 地域の人々の健康な生活や良好な生活環境を守るための諸活動	ごみはどこへ (4) 水はどこから (4)	・ごみ収集は男の人が多い 事務所には女の人もいる ・水道局で働く人は男の人が多い
	エ 地域の人々の安全を守るための諸活動	事故・事件のないまちを目ざして (4) 災害からまちを守るために (4)	・危険と隣り合わせの仕事 → 労災
	オ 地域の古い道具, 文化財や年中行事, 地域の発展に尽くした先人の具体的事例 (3)	受けつがれる行事 (3) 昔の道具とくらし (3) 吉田新田はどこにあった (4)	・道具の変遷から、働くことにはどのような変化がもたらされたか考える。

資料② 社会科カリキュラム

		吉田新田はどうやってできた (4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の地形の変化 新田→工場→商業施設</li> </ul>
	カ 県の地形や産業、県内の特色ある地域	県の地図を広げて (4) 焼き物を生かしたまちづくり (4) 昔のよさを未来に伝えるまちづくり (4) 世界とつながる福岡県 (4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内の産業の実態 地形や特色と関連付ける 働く人はどこでどのような仕事に就いているのか (※身近な人へのお仕事インタビュー) ○産業の種類に目を向ける→5年の学習につなげる ○ドーナツ化現象 県内の人は都心に出ている 川崎、横浜の工業地帯 横浜 第3次産業の発展</li> <li>・伝統工芸職人に男の人が多い</li> <li>・外国人の多い地域</li> </ul>
5 学年	ア 我が国の国土の様子と国民生活との関連	日本は世界のどこにある？ 日本の地形と気候 自然条件と人々の暮らし 森林を守る人々 自然災害とともに生きる 生活環境を守る人々	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの地域でのくらしの特徴について調べ、発表する。 (選択学習) 産業</li> <li>・日本のどこに人が集まっているのか 都市部に多い 山間部に少ない のはなぜ？</li> <li>・林業 働く人の減少 輸入木材の増加</li> </ul>
	イ 我が国の農業や水産業 (食料生産) の様子と国民生活との関連	米づくりのさかんな地域 水産業のさかんな地域 これからの食料生産	<ul style="list-style-type: none"> <li>★働く人に目を向ける。 それぞれの産業での働く人が抱える課題の比較 働き方の比較 仕事量・時間・大変さ・やりがい 等 どの単元でも扱い、常に比較し討論できるようにまとめる。</li> <li>★自分が消費者であることにも目を向け、生産者について知ること、どのような考えをもつことができるか。</li> <li>・食料自給率の低下→農業の衰退 働き手の不足</li> </ul>

資料② 社会科カリキュラム

	ウ 我が国の工業の様子と国民生活との関連	自動車づくりにはげむ人々 世界とつながる日本の工業 工業の今と未来	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働く人…男の人・ロボット</li> <li>・外国人実習生問題 低賃金 失踪</li> <li>・MADE IN ○○ →産業の空洞化（海外の工場生産）</li> <li>・工業の盛んな地域の特徴 地形 北関東工業地域 外国人労働者が多い</li> <li>・輸入品との価格競争による中小工場への影響</li> </ul>
	エ 我が国の情報産業などの様子と国民生活との関連	情報を伝える人々 広がる情報ネットワーク 情報を生かすわたしたち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マスメディアが流す一方的な情報</li> <li>情報化社会の利便性と落とし穴</li> <li>知ること、正しいものを選択する重要性</li> <li>情報源の元はどこにあるのか</li> <li>・表現の自由 と プライバシーの侵害</li> </ul>

資料② 社会科カリキュラム

6 学年	ア 我が国の歴史上の主な事象		<p>・働き方の形態、内容を毎時代追う 権力者だけでなく、平民の生活・働き方にも目を向ける</p> <p>縄文時代… 「どんな人がいたの?」: 人々の生活役割を予想する 協働 結束して大きな獲物を捕らえる 性別役割分業 道具の開発</p> <p>弥生時代… 「米作りから〇〇が始まった」: 稲作から権力者が生まれた。権力者以外の人の生活 村ができる 村同士の争い</p> <p>古墳時代… 「なぜ、あんなに大きなお墓をつくったの?」: 古墳の大きさ=権力者の力 労力や時間 加工技術の発展</p> <p>飛鳥時代… 「聖徳太子が目指したものは?」 十七条の憲法 冠位十二階</p> <p>奈良時代… 「比べてみよう! 貴族と農民」 大仏づくり 労働実態・作られた理由 違法労働 税金 「貧窮問答歌」</p>
------	----------------	--	---

資料② 社会科カリキュラム

		<p>平安時代… 「比べてみよう！貴族と農民」 天皇・貴族 以外の人々の暮らし</p>
		<p>鎌倉時代… 「厳しい暮らしの中での農民たちの 戦い」</p>
		<p>室町時代… 「室町文化の担い手はどんな人たち？」</p>
		<p>戦国時代… 「豊臣秀吉の政治、刀狩令の目的は？」 武士以外の人々の暮らし 一揆についての学習…協働・組合 権力に数で立ち向かう</p>
		<p>江戸時代… 「江戸幕府が約 260 年続いたのはなぜか？」 「下剋上が起きなかったのはなぜか」 士農工商</p>
		<p>明治時代… 「政井みねさんってどんな人？」 「差別や公害と戦った人々」</p>
		<p>大正時代…社会運動 女性の権利 全国水平社</p>
		<p>昭和時代…日本国憲法 労働者の権利が保障される 労働三権 高度経済成長期 雇用が増える</p>

資料② 社会科カリキュラム

			平成… 資本主義社会 非正規雇用 日雇い労働者
イ	我が国の政治の働き，日本国憲法の考え方		<ul style="list-style-type: none"> <li>・政治が私たちの生活にどのように関わっているのかに目を向ける。</li> <li>・憲法について学ぶ 人権 平等 の意味を考える</li> <li>・社会保障制度 生活保護 失業保険</li> <li>・労働三権 労働基準法</li> </ul>
ウ	我が国とつながりの深い国の人々の生活の様子，国際社会における我が国の役割		<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国と日本とのつながり・違い を調べる 産業の様子、働き方、仕事、食料自給率、輸入</li> <li>日本の産業の特徴や働き方と比較することで、課題を整理する。また、さらに良くしていくにはどのようなことが求められるかそれぞれの考えをまとめる。</li> </ul>

資料③ 授業実践「道徳」

6. 本時の展開

(1/2)

	学習活動	指導上の留意点 ○予想される反応 ※評価	評価の観点 ○教師 ※児童
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書「きみがいちばんひかるとき」内『働く』ってどういうこと」P.102の絵を見て、社会にある「仕事」を発表し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>どんな仕事かわからないものを聞き、簡単に解説を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話を聞きやすいリラックスした雰囲気作りができたか。</li> </ul>
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">世の中の人はどうやって仕事を選んでいるのだろう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>職業カードから、その職業を選ぶのにどんな理由があるのか考える。</li> <li>グループごとに発表する。</li> <li>インタビューVTR(1)を見る。</li> <li>気づいたことを発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各グループ2枚ずつ職業カードを配布する。</li> <li>職業カードから、その職業を選んだ理由として考えられることを、グループ内で出し合う。</li> <li>&lt;児童の反応&gt;</li> <li>○やりたいこと</li> <li>○給料がいい</li> <li>○家から近い(通いやすい)</li> <li>○制服がかわいい</li> <li>各グループで職業ごとに考えた理由を画用紙に書く(掲示用)</li> <li>各グループの画用紙を掲示する。</li> <li>実際働いている大人の「仕事を選んだ理由」をまとめたVTRを見る。</li> <li>人物と理由を黒板に掲示する。</li> <li>事前に予想していたようなポジティブな理由の他に、ネガティブな理由で仕事を選んだ人がいることにも気づかせる。</li> <li>(ネガティブ3人・ポジティブ3人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※本時のねらいとする価値に関心を向けられたか。</li> <li>○指導の手立ては適切であったか。(資料)</li> <li>※ねらいとのかかわりにおいて、自分なりの考えを持てたか。</li> </ul>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">ネガティブな理由で仕事を選んだ人は、どうしているのだろうか。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>予想の理由も含めて自分の考えをワークシートに書く。(問1)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;児童の反応&gt;</li> <li>○やりたくないからやめている。</li> <li>○やりたくないから、違う仕事をしている。</li> <li>○やってみたら楽しかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○配慮を要する児童に適切に対応したか。</li> </ul>

資料③ 授業実践「道徳」

	・発表する。	○家族のためにやりたくないけど続けている。	
終末	・次回の予告をする。		



資料③ 授業実践「道徳」

(2/2)

導入	学習活動	指導上の留意点 ○予想される反応 ※評価	評価 ○教師 ※児童
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の振り返りをする。</li> <li>・それぞれのインタビュアーが務めた仕事の年数を知る。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">消去法で仕事を選んでいるのに、なぜ長い間働き続けているのだろう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えをワークシートに書く。(問2)</li> <li>・グループで考えを出し合う。</li> <li>・発表する。</li> <li>・インタビューVTR(2)を見る。</li> <li>・VTRを見て、感想を言う(数人)</li> <li>・インタビューVTR(3)を見る。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;">なぜ、人は働くのだろう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートに今日のめあてを書く。(問3)</li> <li>・インタビューVTR(4)を見る。</li> <li>・自分の意見をワークシートに書く。(問3)</li> <li>・発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回のインタビュー内容をまとめたものを掲示し、想起させる。(ネガティブな理由の人のみ)</li> <li>・ネガティブな理由で仕事を選んだ人に着目させ、それでも仕事を続ける理由を考えさせる。</li> <li>・自分の考えを持ち寄り、グループで意見を出し合う。</li> <li>・ネガティブな理由だった人の「仕事を続ける理由」のVTRを見る。(ネガティブ3人分)</li> <li>○仕事をしてみても見えてくることもある。</li> <li>○やりがいは人それぞれ違う。</li> <li>・ネガティブな職業選択から「辞める」と選択する人もいることを伝える。</li> <li>・転職した人のVTRを見せる。(1人)</li> <li>・辞めても、その後「働く」ことは続けていることに着目させる。</li> <li>・様々な大人の「職業選択理由」「仕事を続ける理由」のインタビューVTRを見せる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○話を聞きやすいリラックスした雰囲気作りができたか。</li> <li>※これまでの自分の生活の中で振り返られたか。</li> <li>○指導の手立ては適切であったか。(資料)</li> <li>※本時のねらいにせまる道徳的思考を持てたか。</li> </ul>

資料③ 授業実践「道徳」

<p>終末</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担任の話を書く。</li>   <li>・2時間の授業を通して感じたことを書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インタビューで答えた人は「自分にとっての」やりがい。皆が「自分にとって」大切だと思って働いていることが、人のためになっている。それぞれの仕事が誰かの役に立ち、社会が構成されていることを、教師の言葉で語る。</li> </ul>	<p>○指導の手立ては適切であったか。(説話)</p>
-----------	---	---	-----------------------------

資料④ 中学校授業実践「社会科」

本時の展開

(1) 目標

- ・労働の意義について考え、労働基準法が守ろうとするべき人々の生き方について考えを深める

(2) 展開

過程	学 習 活 動	指導上の留意点	評価【観点・場面・方法】
導 入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話をする。</li> <li>・違和感や問題点がある箇所に線を引く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話をする中で、児童生徒が自分のこととして考えられるよう、イメージを持たせるようにする。</li> </ul>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: fit-content;">                     「働く場所で労働を延長するように言われた。何が問題だろう？」                 </div>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何が問題かを発表する。</li> <li>・既習した労働基準法の内容を確認する</li> <li>★労働基準法                         <ul style="list-style-type: none"> <li>○1日8時間</li> <li>○週に1日は休日</li> <li>○男女同一賃金</li> <li>○週に40時間労働まで</li> <li>など</li> </ul> </li> <li>・「太郎さんはどうしたと思いますか？」の問いに対する答えを労働基本権に触れながら考える。</li> <li>★労働基本権                         <ul style="list-style-type: none"> <li>○団結権</li> <li>○団体交渉権</li> <li>○団体行動権</li> </ul> </li> </ul>	<p>【予想される生徒の発言】</p> <p>「長時間労働」 「社長のパワハラ」など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・労働基準法のいくつかの内容を提示し、それらが労働者を守るものであることに気づかせる。</li> <li>・労働者として不利な状況になった場合に、どのような対応があるかを既習の内容から想起させる。</li> </ul> <p>【予想される生徒の発言】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誰かに相談する</li> <li>・組合で交渉する、ストライキを起こす</li> <li>・弁護士に相談する</li> <li>・労働基準法や労働基本権が労働者を守るものであることを確認する。また、労働基準法はどのような生き方を守ろうとしているのかを考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・労働者の権利とそれを守る法律の整備、労働条件の改善について理解している。【知識・理解】</li> </ul>

<p>展 開</p>	<p>「労働基準法はどのような生き方を守ろうとしているのだろうか？」</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 個人の考えを書く</li> <li>• ワークシートに記入</li>   <li>• 4人グループで話し合う</li>   <li>• 各グループ考えを発表する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ワークシートに記入する際には、板書や教科書を参考に、労働基準法の具体的な内容を根拠として考えを書かせる</li>   <li>• 書くことが難しい生徒には「労働基準法」の『基準』は何のための基準かを考えさせる。</li>   <li>• ホワイトボードを用意する。</li>   <li>• 個人の考えを持ち寄り、まとめることで、グループなりの答えを書かせるように指示する。</li>   <li>【予想される発言】                      「ブラック企業を見極める」                      「仕事をしながら自分の好きなことをすること」                      「人間らしく生きるため」                      「よりよく生活するため」                      → 「豊か」や「よりよく」などの言葉が出てきたときは、さらにその言葉の意味を追究して聞く。</li> </ul>	
<p>ま と め</p>	<p>「あなたは、どのような働き方を理想としますか？」</p>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「あなたは、どのような働き方を理想としますか？」の問いに対し、自分なりの考えを書く。</li>   <li>• 発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 働きながら、「よりよく生きる」ためには何が大事か、自分なりの理想とする考えを持てるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 労働基準法の内容からどのような働き方を理想とするか、また、その説明として根拠となる事柄に触れ、考えをまとめている。【思考・判断・表現】</li> </ul>	

太郎さんは、近所の工場で機械を作る仕事をしています。毎日朝 8 時半から 17 時まで働いています。お休みは2週間に1回か2回あります。仕事はとても大変で、重たいものを運んだり、けがをしてしまうかもしれない危険な仕事もあつたりします。でも、一緒に働く人はみんないい人です。

社長さんはとっても怖い人で、よく社員を怒っています。社員の中には、社長を怒らせてしまい、辞めさせられた人もいます。社長さんが怖くて、精神的につらい思いをしながら仕事をしている人もいます。

ある日突然、社長に太郎さんたち社員が集められ、「明日から、朝 8 時から夜 10 時まで働くように」と告げられました。

太郎さんは、工場を辞めようかと考えましたが、仕事を探し続けている無職の友だちのことが頭の中をよぎりました。太郎さんはどうしていいかわからなくなってしまいました。